

## 袖ヶ浦市交流センターの設置及び管理に関する条例（案）

## （趣旨）

第 1 条 この条例は、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 244 条の 2 第 1 項の規定に基づき、袖ヶ浦市交流センター（以下「交流センター」という。）の設置及び管理に関し必要な事項を定めるものとする。

## （定義）

第 2 条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 市民 市内に居住する者又は市内に通勤し、若しくは通学する者をいう。
- (2) 地域コミュニティ 地域における地縁団体（自治会、子ども会、PTA その他地縁により形成された住民を主体とする団体をいう。）、市民活動団体（NPO、ボランティア団体その他地縁に捉われることなく共通の関心又は分野により形成された市内で活動する団体をいう。）及び事業者（市内において事業活動を行う者をいう。）をいう。
- (3) 協働 地域コミュニティ及び市が共通の目的を達成するために、それぞれの果たすべき役割及び責任を自覚した上で、相互の自主性及び主体性を尊重しながら協力し、又は連携することをいう。
- (4) まちづくり 地域課題の解決を図り、より住みやすい地域社会を形成することをいう。

## （設置）

第 3 条 市は、地域コミュニティの活性化に関し、社会教育に関する事業等と一体的に取り組むことにより、協働によるまちづくりを推進するため、その活動拠点として、交流センターを設置する。

## （名称及び位置）

第 4 条 交流センターの名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
----	----

袖ヶ浦市昭和交流センター	袖ヶ浦市坂戸市場 1 5 6 6 番地
袖ヶ浦市長浦交流センター	袖ヶ浦市蔵波 5 1 3 番地 1
袖ヶ浦市根形交流センター	袖ヶ浦市下新田 1 2 7 7 番地
袖ヶ浦市平岡交流センター	袖ヶ浦市野里 1 5 6 3 番地 1
袖ヶ浦市平川交流センター	袖ヶ浦市横田 1 1 5 番地 1

(サブセンター)

第 5 条 袖ヶ浦市平川交流センターにサブセンターを設置し、その名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
富岡サブセンター	袖ヶ浦市吉野田 6 2 2 番地 2

(管理者)

第 6 条 交流センターの管理者は、市長とする。

(職員)

第 7 条 交流センターに、それぞれ所長その他の職員を置く。

(事業)

第 8 条 交流センターの事業は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 市民及び地域コミュニティによるまちづくりの支援に関すること。
- (2) 協働のまちづくりの推進に当たり、地域課題の解決に向けた取組に関すること。
- (3) 交流センターの施設又はその附属設備（以下「交流センターの施設等」という。）の提供に関すること。
- (4) 前 3 号に掲げるもののほか、交流センターの設置目的を達成するために必要な事業

(施設の共用)

第 9 条 市長は、袖ヶ浦市公民館並びに市民会館の設置及び管理等に関する条例（昭和 4 9 年条例第 3 3 号）第 6 条に規定する事業を実施するため、交流センターを使用に供するものとする。

(開館時間)

第 10 条 交流センターの開館時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、市長が必要と認めるときは、開館時間を午後 9 時まで（6 月 1 日から 9 月 30 日までの期間にあっては、午後 9 時 30 分まで）延長することができる。

(休館日)

第 11 条 交流センターの休館日は、1 月 1 日から同月 4 日まで及び 12 月 28 日から同月 31 日までとする。ただし、市長が特に必要があると認めるときは、臨時に休館し、又は休館日を変更することができる。

(使用の許可)

第 12 条 交流センターの施設等を使用しようとする者は、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。

- 2 市長は、前項の許可に管理上必要な条件を付することができる。

(使用の制限)

第 13 条 市長は、次の各号のいずれかに該当する場合には、交流センターの施設等の使用を許可しないことができる。

- (1) その使用が公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。
- (2) その使用が交流センターの設置の目的に反するおそれがあると認められるとき。
- (3) 袖ヶ浦市暴力団排除条例（平成 24 年条例第 1 号）第 2 条第 1 号に規定する暴力団の利益になると認められるとき。
- (4) 特定の宗教を支持し、又は特定の教派、宗派若しくは教団を支援することを目的とするおそれがあると認められるとき。
- (5) その他交流センターの管理上支障があると認められるとき。

(使用許可の取消し等)

第 14 条 市長は、第 12 条第 1 項の規定による使用の許可を受けた者（以下「使用者」という。）が次の各号のいずれかに該当する場合は、その

許可を取り消し、又はその使用を制限し、若しくは停止することができる。

(1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。

(2) 第12条第2項の規定による許可の条件に違反したとき。

(3) 前条各号のいずれかに該当したとき。

(4) 虚偽の申請その他不正の手段により使用の許可を受けた事実が明らかとなったとき。

(5) その他交流センターの管理上支障があると認められたとき。

2 前項の規定により使用者において損害を生ずることがあっても、市はその賠償の責めを負わない。

(使用料)

第15条 使用者は、別表第1、別表第2及び別表第3に定める使用料を納入しなければならない。

(使用料の徴収)

第16条 使用料は、使用の許可と同時に徴収する。

2 市長は、国又は地方公共団体その他これに類する団体に使用の許可をした場合は、前項の規定にかかわらず、別に納期を指定して徴収することができる。

(使用料の減免)

第17条 市長が特に必要があると認めるときは、第15条の使用料の額を減額し、又は免除することができる。

(使用料の不還付)

第18条 既に徴収した使用料は還付しない。ただし、使用者の責めに帰することができない事由その他相当の事由があると認めるときは、使用料の全部又は一部を還付することができる。

(使用期間)

第19条 交流センターの施設等は、同一使用者が同一施設等を引き続き3日以上にわたって使用することはできない。ただし、市長が特に必要

と認めるとき、又は交流センターの管理上支障がないと認めるときは、この限りでない。

（目的外使用等の禁止）

第 20 条 使用者は、第 12 条第 1 項の規定により使用の許可を受けた目的以外に交流センターの施設等を使用し、又はその権利を譲渡し、若しくは転貸してはならない。

（模様替え等）

第 21 条 使用者が交流センターの施設等の使用に際しこれを模様替えし、又は設備等を附加しようとするときは、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。

（原状回復）

第 22 条 使用者は、第 12 条第 1 項の規定により使用の許可を受けた交流センターの施設等の使用を終了したとき（第 14 条第 1 項の規定により使用について許可の取消し又は制限若しくは停止があったときを含む。）は、直ちに原状に復さなければならない。

2 使用者が、前項に規定する義務を履行しない場合においては、市長が執行し、その費用を当該使用者から徴収する。

（損害賠償）

第 23 条 交流センターの施設、設備、備品等を汚損し、損傷し、又は滅失した者は、これによって生じた損害を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

（委任）

第 24 条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

（施行期日）

1 この条例は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

（経過措置）

2 この条例の施行の際現に袖ヶ浦市公民館並びに市民会館の設置及び管

理等に関する条例の一部を改正する条例（令和５年条例第○号）による改正前の袖ヶ浦市公民館並びに市民会館の設置及び管理等に関する条例の規定に基づきなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定に基づきなされた処分、手続その他の行為とみなす。

（準備行為）

- ３ 第１２条から第１９条まで及び第２１条の規定による交流センターの施設等の使用等に関する事務その他必要な準備行為は、この条例の施行前において行うことができる。

別表第１（第１５条関係）

袖ヶ浦市昭和交流センター

使用時間区分 施設区分		午前９時から午後５ 時まで１時間につき	午後５時から午後９ 時まで１時間につき
１階	会議室	３４０円	３７０円
	研修室	２３０円	３５０円
	調理実習室	６５０円	９１０円
	和室１	２３０円	３５０円
	和室２	２３０円	３５０円
	大ホール（楽屋 １・２、ホワイエ 等を含む。）	５，７４０円	８，６２０円
	大ホール（舞台の みを使用する場 合）	１，７２０円	２，５８０円
２階	会議室１	３４０円	３７０円
	会議室２	３４０円	３７０円
	講義室	３４０円	３７０円
	和室	２３０円	３５０円

	研修室	6 5 0 円	9 1 0 円
3 階	中ホール	1 , 2 3 0 円	1 , 8 4 0 円
レストラン（厨房、パントリー、倉庫、パッケージ室を含む。）		1 月につき 2 1 5 , 0 0 0 円	

袖ヶ浦市長浦交流センター

使用時間区分 施設区分		午前 9 時から午後 5 時まで 1 時間につき	午後 5 時から午後 9 時まで 1 時間につき
1 階	多目的ホール	1 , 2 3 0 円	1 , 8 4 0 円
	多目的室	6 5 0 円	9 1 0 円
2 階	会議室 1	3 4 0 円	3 7 0 円
	会議室 2	3 4 0 円	3 7 0 円
	和室 1	2 3 0 円	3 5 0 円
	和室 2	2 3 0 円	3 5 0 円
	創作室	3 4 0 円	3 7 0 円
	視聴覚室	6 5 0 円	9 1 0 円
	調理実習室	6 5 0 円	9 1 0 円
	研修室 1	3 4 0 円	3 7 0 円
	研修室 2	3 4 0 円	3 7 0 円

袖ヶ浦市根形交流センター

使用時間区分 施設区分		午前 9 時から午後 5 時まで 1 時間につき	午後 5 時から午後 9 時まで 1 時間につき
1 階	野外ステージ	6 5 0 円	9 1 0 円
	多目的ホール	1 , 2 3 0 円	1 , 8 4 0 円
2 階	会議室	3 4 0 円	3 7 0 円
	講義室	3 4 0 円	3 7 0 円
	研修室	3 4 0 円	3 7 0 円

	和室	2 3 0 円	3 5 0 円
	アトリエ	3 4 0 円	3 7 0 円
	調理実習室	6 5 0 円	9 1 0 円
	視聴覚室	6 5 0 円	9 1 0 円

袖ヶ浦市平岡交流センター

使用時間区分 施設区分		午前 9 時から午後 5 時まで 1 時間につき	午後 5 時から午後 9 時まで 1 時間につき
1 階	多目的ホール	1 , 2 3 0 円	1 , 8 4 0 円
	会議室	2 3 0 円	3 5 0 円
2 階	会議室 1	3 4 0 円	3 7 0 円
	会議室 2	3 4 0 円	3 7 0 円
	和室	3 4 0 円	3 7 0 円
	研修室	6 5 0 円	9 1 0 円
	調理実習室	6 5 0 円	9 1 0 円
	視聴覚室	6 5 0 円	9 1 0 円

袖ヶ浦市平川交流センター

使用時間区分 施設区分		午前 9 時から午後 5 時まで 1 時間につき	午後 5 時から午後 9 時まで 1 時間につき
1 階	体育室	1 , 8 4 0 円	2 , 7 6 0 円
	会議室	3 4 0 円	3 7 0 円
	多目的室	6 5 0 円	9 1 0 円
2 階	視聴覚室	6 5 0 円	9 1 0 円
	会議室 1	2 3 0 円	3 5 0 円
	会議室 2	2 3 0 円	3 5 0 円
	保育室	2 3 0 円	3 5 0 円
	和室	3 4 0 円	3 7 0 円
	調理実習室	6 5 0 円	9 1 0 円



袖ヶ浦市平川交流センター富岡サブセンター

使用時間区分 施設区分	午前 9 時から午後 5 時まで 1 時間につき	午後 5 時から午後 9 時まで 1 時間につき
多目的ホール	1, 230 円	1, 840 円
会議室	340 円	370 円
和室	340 円	370 円
調理実習室	650 円	910 円

備考

- 1 使用料は、1 時間当たりの使用料（以下「単位使用料」という。）に使用時間数を乗じて算定する。
- 2 使用時間に 1 時間未満の端数が生じたときは、当該端数は 1 時間とみなす。
- 3 使用に当たって、使用時間が使用時間区分をまたがる場合の使用料については、それぞれの使用時間区分ごとの使用時間数（1 時間未満の端数が生じたときは、当該端数は 1 時間とみなす。）に単位使用料を乗じた上、その額を合算して算定する。
- 4 市民でない者が使用する場合の単位使用料は、当該単位使用料の 5 割に相当する額を加算した額とする。
- 5 使用者が入場料その他これに類する料金を徴収する場合の単位使用料は、当該単位使用料の 5 割に相当する額を加算した額とする。
- 6 単位使用料の額に 10 円未満の端数が生じたときは、その都度これを切り捨てる。
- 7 6 月 1 日から 9 月 30 日までは、「午後 9 時」を「午後 9 時 30 分」とする。

別表第 2（第 15 条関係）

体育室又は多目的ホールをアマチュアスポーツとして使用する場合（冷房又は暖房を使用しない場合に限る。）

施設区分		使用時間区分	
		午前 9 時から 午後 5 時まで 1 時間につき	午後 5 時から 午後 9 時まで 1 時間につき
袖ヶ浦市平川交流センター	体育室（全面）	5 3 0 円	6 8 0 円
	体育室（半面）	2 6 0 円	3 4 0 円
袖ヶ浦市長浦交流センター	多目的ホール	2 8 0 円	3 9 0 円
袖ヶ浦市根形交流センター			
袖ヶ浦市平岡交流センター			
袖ヶ浦市平川交流センター 富岡サブセンター			

#### 備考

- 1 使用料は、単位使用料に使用時間数を乗じて算定する。
- 2 使用時間に 1 時間未満の端数が生じたときは、当該端数は 1 時間とみなす。
- 3 使用に当たって、使用時間が使用時間区分をまたがる場合の使用料については、それぞれの使用時間区分ごとの使用時間数（1 時間未満の端数が生じたときは、当該端数は 1 時間とみなす。）に単位使用料を乗じた上、その額を合算して算定する。
- 4 市民でない者が使用する場合は、当該単位使用料の 5 割に相当する額を加算した額とする。
- 5 単位使用料の額に 1 0 円未満の端数が生じたときは、その都度これを切り捨てる。
- 6 6 月 1 日から 9 月 3 0 日までは、「午後 9 時」を「午後 9 時 3 0

分」とする。

別表第3（第15条関係）

附属設備使用料その1

品名	単位	使用料 (1時間につき)
ピアノ	1台	440円
エレクトーン	1台	440円
第1ボーダーライト	1式	890円
第1サスペンションライト		
第2ボーダーライト		
第2サスペンションライト		
ホリゾントライト		
シーリングライト		
フロントサスペンションライト		
ステージスポットライト	1台	40円
マイクロホン	1本	80円
ビデオプロジェクター	1台	440円
CDプレーヤー	1台	220円
CD・MDプレーヤーコンポ	1台	220円
ブルーレイレコーダー	1台	220円
スクリーン	1面	70円
反響板	1式	520円
三点吊りマイク	1式	440円
拡声装置	1台	220円
大ホール拡声装置	1式	520円
ステージスピーカー	1式	130円
はね返りスピーカー	1式	50円

指揮者台	1 台	2 0 円
指揮者用譜面台	1 台	2 0 円
譜面台	1 台	1 0 円
平台	1 枚	3 0 円
大ホール講演台	1 台	1 3 0 円

附属設備使用料その 2

品名	単位	使用料 ( 1 回 当 た り )
陶芸窯 ( 素 焼 き )	1 台	1 , 0 0 0 円
陶芸窯 ( 本 焼 き )	1 台	2 , 0 0 0 円

備 考

- 1 平台には、箱足及び開き足を含む。
- 2 大ホール講演台には、司会者台及び花台を含む。
- 3 使用時間に 1 時間未満の端数が生じたときは、当該端数は 1 時間とみなす。